

にいがた新世代ヘルスケア情報基盤を活用した研究・事業

①研究課題名	新潟県補聴器使用による QOL 効果検証事業（コホート調査）
②対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業に協力する県内 6 市（長岡市、三条市、新発田市、十日町市、燕市、佐渡市）に居住する 65 歳以上の者のうち、聴力レベルが概ね 30 dB 以上 70 dB 未満に該当し、本事業への参加に同意が得られた者（予定登録者数：約 720 名）。 ・なお、R7.9 月時点で協定未締結の長岡市居住者については協定締結後、データを取得・活用します。
③概要	<p>聞こえの状況、こころとからだの状態、社会生活状況に関するアンケート調査の回答内容と、聴力検査の結果や医療・介護レセプトデータを突合し分析することで、難聴が疑われる方の補聴器の使用実態を明らかにするとともに、聞こえの状況がどのように人々の健康や日常生活に影響を及ぼすのかを明らかにし、高齢者の方がより元気でいきいきと過ごすための知見を得ることを目的とします。</p>
④申請番号	25-005
⑤研究の目的・意義	<p>新潟県の高齢者を対象に、難聴高齢者の補聴器の使用実態を明らかにするとともに、補聴器の使用が QOL（Quality of Life：生活の質）、身体的機能及び心理的機能にどのような影響を及ぼしているか、補聴器使用群と対照群（補聴器未使用群）を経時的に追跡して分析し、検証結果を基に難聴高齢者に対する支援のあり方を検討するための知見を得ることを目的とします。</p>
⑥研究期間	<p>令和 5 年 4 月～令和 10 年 3 月末</p> <p>※にいがた新世代ヘルスケア情報基盤のデータ活用は、倫理審査委員会承認～令和 10 年 3 月末</p>
⑦情報の利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>中等度難聴に該当する聴力レベルの方について、補聴器を使い始めた群（使用群）と補聴器を使用していない群（未使用群）の 2 群に分け、補聴器の使用の有無が QOL、身体的機能及び心理的機能に及ぼす影響を記述統計や多変量解析などを用いて比較検討します。</p> <p>データの集計・解析は、県からの業務委託先である新潟大学で行います。データの受け渡し・管理は、セキュリティ対策を講じた環境下で行い、解析時は個人情報を含まないデータセットを作成の上実施するなど、個人情報の保護に万全を期して行います。研究の結果を公表する際も、事業対象者を特定する情報は含みません。事業により得られた成果は、新潟県のホームページや学術学会等において公表します。</p>
⑧利用または提供する情報の項目	<p>1 事業担当課が収集し、利用する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本属性（氏名、生年月日、性別、住所等） ・聴力検査結果

	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査：日常生活における聞こえの状況、補聴器の使用状況、日常生活動作、睡眠、食事、社会参加、抑うつ度、幸福感、QOL、家族構成等 2 にいがた新世代ヘルスケア情報基盤を活用し、利用する項目 ・医科レセプト、調剤レセプト：傷病名、診療日、入院/外来の別、手術処置名、薬剤・医療材料等 ・介護レセプト：要介護度、要介護認定日、サービス種別、サービス提供日等 ・被保険者台帳データ
⑨利用の範囲	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課、新潟大学大学院医歯学総合研究科（新潟大学倫理審査委員会承認済）
⑩お問い合わせ先	高齢福祉保健課 Tel : 025-280-5192 E-mail : ngt040230@pref.niigata.lg.jp